

教養教育科目履修基準表

第五類 心理学系コース（心理学プログラム）

区分	科目区分	要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修セメスター(注1)												
						1年次		2年次		3年次		4年次						
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ					
教養教育科目	平和科目	2		2	選択必修	○												
	大学教育基礎科目																	
		大学教育入門	2	大学教育入門	2	必修	○											
		教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○											
	領域科目	人文社会科学系科目群	4	心理学概論A(注4)	2	必修	○											
		心理学概論B(注4)		2			○											
		自然科学系科目群	4	(注5)	1又は2	選択必修	○	○	○	○								
	外国語科目 (注2)	英語	6	コミュニケーション基礎 I	1	選択必修	○											
				コミュニケーション基礎 II	1			○										
				コミュニケーション I (注3)	1		○											
				コミュニケーション I B	1		○											
				コミュニケーション II A	1			○										
				コミュニケーション II B	1				○									
		-	(0)	上記6科目から2科目以上														
		初修外国語	(0)	コミュニケーション上級英語	1	自由選択	○	○										
		情報・データサイエンス科目	4	情報・データ科学入門	2	必修	○											
		(注6)		2	選択必修	○	○											
		健康スポーツ科目	(0)		1又は2	自由選択	○	○										
		社会連携科目	(0)		1又は2	自由選択	○	○										
		基盤科目	(0)		1～3	自由選択	○	○	○	○								
	自由選択科目	8	(注7)	1～3	選択必修	○	○	○	○									
	計	32																

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するセメスターが異なる場合があるので、毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。

注2：短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「オンライン英語演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位に代えることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細については、学生便覧の教養教育の英語に関する項及び「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照すること。

注3：時間割編成の都合上、1セメスターは「コミュニケーションⅠA」及び「コミュニケーションⅠB」が、2セメスターは「コミュニケーションⅡA」及び「コミュニケーションⅡB」が指定されている。

注4：時間割編成の都合上、1セメスターは「心理学概論A」が、2セメスターは「心理学概論B」が指定されている。

注5：「情報・データサイエンス科目」のうち4単位を超えて修得した単位数は、卒業に必要な領域科目(自然科学系科目群)の単位に代えることができる。

注6：「コンピュータ・プログラミング」、「知能とコンピュータ」、「データサイエンス基礎」、「ゼロからはじめるプログラミング」、「教育のためのデータサイエンス」を対象とする。

注7：領域科目、外国語科目、情報・データサイエンス科目、健康スポーツ科目、社会連携科目、基盤科目を対象とする。

注8：教育職員免許状を取得するためには、「日本国憲法」2単位、健康スポーツ科目2単位を修得する必要がある。

学部履修基準

第五類(人間形成基礎系)

○心理学系コース(心理学プログラム)

科目区分等			要修得単位数	
教養教育	平和科目		2	
	大学教育基礎科目	大学教育入門	2	
		教養ゼミ	2	
	共通科目	領域科目	人文社会科学系科目群	4
			自然科学系科目群	4
		外国語科目	英語	6
			初修外国語	(0)
		情報・データサイエンス科目	4	
		健康スポーツ科目	(0)	
		社会連携科目	(0)	
基盤科目	(0)			
自由選択科目	8			
専門教育	専門基礎科目		14	
	専門科目		32	
	専門選択科目		30	
	卒業論文		6	
自由選択科目			14	
合計			128	

専門教育科目履修基準

第五類 心理学系コース (心理学プログラム)

履 修 内 容			要 修 得 単 位 数		開 設
専門基礎科目	研究法	心理学基礎実習Ⅰ	1	14	心理学系コース
		心理学基礎実習Ⅱ	1		
		心理学統計法Ⅰ	2		
		心理学統計法Ⅱ	2		
		選択科目	4		
外書講読		4			
専門科目	概論・領域概論		12	32	
	領域特論		10		
	実践・応用領域特論		6		
	研究法演習	心理学実験	2		
		選択科目	2		
専門選択科目			30	教育学部ほか	
卒業論文			6	心理学系コース	
自由選択科目			14	教育学部ほか	

<履修上の注意>

『専門選択科目』欄の副専攻プログラム及び特定プログラムの修得単位数は、30単位まで認める。

第五類 心理学系コース（心理学プログラム）

開設単位数欄の○印数字は必修

履修セメスター欄の○印は標準履修セメスター

備考欄の◎は、公認心理師になるために必要な科目を示す。

区分	授業科目	開単位数	履修セメスター								免許法該当科目	備考
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ		
専門基礎科目	研究法	心理学基礎実習Ⅰ	①	○								
		心理学基礎実習Ⅱ	①	○								
		心理学統計法Ⅰ	②			○						◎
		心理学統計法Ⅱ	②				○					
		心理学研究法	2			○						◎
		心理社会調査法	2				○					
		心理的アセスメント	2				○					◎
	外書講読	心理学外書講読演習Ⅰ	①			○						
		心理学外書講読演習Ⅱ	①			○						
		心理学外書講読演習Ⅲ	①				○					
		心理学外書講読演習Ⅳ	①				○					
	専門科目	概論・領域概論	心理学概論	2		○						
知覚・認知心理学			2				○					◎
学習・言語心理学			2			○					幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	◎
社会・集団・家族心理学			2			○						◎
教育・学校心理学			2				○				幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	◎
発達心理学			2				○				〃	◎
臨床心理学概論			2			○						◎
領域特論		神経・生理心理学	2					○				◎
		対人心理学	2					○				
		児童・青年期発達論	2					○			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
		乳幼児心理学	2					○			〃	
		生徒・進路指導論	2				○				生徒指導の理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	
		教育相談	2						○		教育相談	
		感情・人格心理学	2				○					◎ 隔年開講
		障害者・障害児心理学	2						○			◎

